

平成16年度 岐阜県高等学校総合体育大会バスケットボール競技  
兼東海・全国高等学校総合体育大会岐阜県予選会  
大会第2日:平成16年5月29日(土)  
会場:メモリアルセンターで愛ドーム・岐阜農林高校

## 男子の部

<審判>

Aブロック 決勝	長良	97	$\begin{bmatrix} 23 - 17 \\ 21 - 18 \\ 27 - 15 \\ 26 - 31 \end{bmatrix}$	81	岐阜	大江裕之・長屋貴
Bブロック 決勝	岐阜総合	107	$\begin{bmatrix} 32 - 18 \\ 22 - 29 \\ 23 - 23 \\ 30 - 25 \end{bmatrix}$	95	岐阜農林	室谷伸治・藤浪元明
Cブロック 決勝	美濃加茂	102	$\begin{bmatrix} 32 - 25 \\ 21 - 25 \\ 25 - 20 \\ 24 - 23 \end{bmatrix}$	93	岐南工	田口浩三・棚橋英一
Dブロック 決勝	斐太	87	$\begin{bmatrix} 25 - 15 \\ 15 - 15 \\ 21 - 22 \\ 26 - 10 \end{bmatrix}$	62	大垣北	相宮俊郎・田中昭博
決勝リーグ	岐阜総合 (1勝)	98	$\begin{bmatrix} 23 - 26 \\ 24 - 27 \\ 24 - 17 \\ 27 - 15 \end{bmatrix}$	85	長良 (1敗)	増田博徳・角平和優

両チームともマンツーマンでスタート。岐阜総合は梅田、赤座、新川のドライブからのジャンプシュートで得点をかせぐ。対する長良は秋田、栗田のゴール下で反撃。第1ピリオドを終わって、26-23と長良がリード。第2ピリオド、ミスの続く岐阜総合に対し、長良は秋田、栗田のゴール下に加え、浅野のミドルシュートも決まりだし、35-25と岐阜総合を突き放す。

第3ピリオド、岐阜総合は新川の3点シュート、原のハイポストからのジャンプシュートなどで、残り7分に同点に追いつき、赤座のパスカットからの速攻で一気に逆転。その後長良も粘りを見せ、71-70と岐阜総合の1点リードで最終ピリオドを迎える。第4ピリオドは1点を争う緊迫したゲームだったが、次第に脚が止まりだした長良にミスが続いた。結局、最後までディフェンスの脚が止まらなかった岐阜総合が、98-85と相手を振り切って決勝リーグの1勝目をあげた。(高田竜平)

決勝リーグ	斐太 (1勝)	111	$\begin{bmatrix} 32 - 14 \\ 18 - 14 \\ 25 - 18 \\ 36 - 21 \end{bmatrix}$	67	美濃加茂 (1敗)	松野瑞穂・山田祐治
-------	------------	-----	--	----	--------------	-----------

両チームともマンツーマンディフェンスでスタートする。斐太は、北川、藤岡、熊崎の外角シュートが効率よく決まり、ゲームの主導権を握る。逆に美濃加茂はターンオーバーが多く、リズムをつかめない。第2ピリオドに入ると、美濃加茂は高橋が高さを活かしてインサイドで得点を重ね追い上げる。しかし、斐太は残り1分で2-2-1プレスをして相手ボールを奪い、さらに得点を伸ばした。前半を終わって、斐太が50-28とリード。

後半の斐太は堅実なディフェンスで相手につけている隙を与えず、攻めても北川のドライブ、藤岡のミドルシュートでリードを広げた。美濃加茂もオールコートプレスで必死に追いかけるが、思い通りに行かず、結局斐太が前半のリードをさらに広げて、決勝リーグの1勝目をあげた。(宮崎泰彦)

女子の部

&lt;審判&gt;

Aブロック決勝 岐阜女子 143  $\left[ \begin{array}{l} 34 - 5 \\ 45 - 5 \\ 39 - 9 \\ 25 - 14 \end{array} \right]$  33 大垣北 古田憲司・川上祐輔

Bブロック決勝 関商工 64  $\left[ \begin{array}{l} 11 - 12 \\ 16 - 19 \\ 16 - 16 \\ 15 - 11 \\ 6 - 3 \end{array} \right]$  61 加茂 後藤慎二・神山元秀

Cブロック決勝 県岐阜商 118  $\left[ \begin{array}{l} 26 - 6 \\ 35 - 19 \\ 30 - 15 \\ 27 - 17 \end{array} \right]$  57 大垣商 三浦 潔・小池匡弥

Dブロック決勝 高山西 73  $\left[ \begin{array}{l} 16 - 11 \\ 20 - 9 \\ 25 - 15 \\ 12 - 25 \end{array} \right]$  60 多治見西 川島哲生・清水 潤

決勝リーグ 岐阜女子 139  $\left[ \begin{array}{l} 45 - 10 \\ 29 - 10 \\ 41 - 2 \\ 24 - 11 \end{array} \right]$  33 関商工 杉山広之・小野卓也  
(1勝) (1敗)

両チームともマンツーマンでスタート。高さとスピードで勝る岐阜女子は開始から 宮元の3点シュート、服部の速攻などで次々に得点を重ね、第1ピリオドで45-10と相手を圧倒する。第2ピリオドに入ると関商工は持ち味である鋭い合わせのプレーから、長瀬、酒向のカットインや中島のポストプレーで得点し追い上げを図るが、岐阜女子の勢いは止まらず、前半は岐阜女子が74-20と大きくリードを奪い、試合を決定づける。

第3ピリオドに入っても、岐阜女子は 岩田、越智らが次々にシュートを決めてさらに差を広げ、第4ピリオドには控えの選手を出場させる余裕を見せて、優勝に向けて着実に一步を踏み出した。(向井好美)

決勝リーグ 県岐阜商 68  $\left[ \begin{array}{l} 26 - 15 \\ 17 - 9 \\ 19 - 8 \\ 6 - 22 \end{array} \right]$  54 高山西 小泉純子・西脇勝己  
(1勝) (1敗)

立ち上がり県岐阜商は 岩田の3点シュート、柴田(ひ)のインサイドプレイと、内・外角から効果的に攻め、試合の流れをつかむ。高山西は 金田の3本の3点シュートで反撃するが、県岐阜商のプレッシャーの前に、24秒オーバータイムを度々とられ思うように得点できない。第2ピリオドに入るとさらに県岐阜商はプレッシャーを強め、スチールから、柴田(朋)、柴田(ひ)が速攻で次々に得点し、完全に主導権を握る。43-24と県岐阜商が大量リードを奪い、前半を終える。

第3ピリオドに入っても県岐阜商のペースは変わらず、さらに得点差が開く。第4ピリオドに入ると、高山西は1-2-1-1オールコートゾーンプレスで必死にボールを追いかけるが、時すでに遅く、大量得点差に守られた県岐阜商が逃げ切り決勝リーグ1勝目をあげた。県岐阜商のディフェンスの集中力には特筆すべきものがあった。(田中昭博)